



創業者 松木恒雄

IDECグループの歴史は、1945年11月、大阪・道修町の一角に「和泉商会」を創業したことに始まります。和をもって人の力を結集させ、常に汲めども尽きない泉のように素晴らしいアイデアが湧き出し、発展を続ける企業になろう…、それが「和泉」という社名に込められた願いです。



創業当時の店舗

1956年に大阪市淀川区に完成した三国工場（写真/上）
当時の製造現場（写真/下）



初の海外拠点となる台湾和泉精機（現・台湾愛徳克）

創

At the time of Start-up 1945-

Over 70 years of Innovation

「新しい可能性」を創造する。それは、創業時から引き継がれる志。

戦後復興の時代、高品質な制御機器の製造・販売を開始

高度成長を支える陰の主役、制御機器の総合メーカーに

IDECは、終戦の年である1945年に「和泉商会」として創業しました。創業当初は電気器具の小売、販売を行っていましたが、当時機械設備などに欠かせない各種開閉器が不足していたことに着目し、高品質の開閉器を開発。産業界からの高い評価を受け、規格に厳しい駐留米軍の指定品となるなどロングセラー製品となり、繊維・化学工場、石油コンビナートなどで活躍する防爆機器とともに、戦後復興のものづくりを支えました。





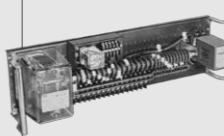
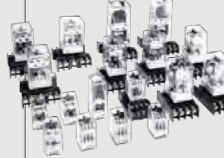
高度経済成長にともない、設備や装置を最適な状態になるよう制御する、計測・制御技術のニーズが高まってきました。これらの装置やシステムに欠かせない制御機器の製造・販売を始め、制御機器の総合メーカーへと転換、日本の経済発展を支えました。1970年代には、事業規模の拡大と量産化に対応するため、国内外に生産・販売拠点を設立しました。

創業以来、製造現場の「安全」「安心」を担う製品を作り続けてきました。

これからも、制御技術や環境技術で社会課題の解決を図り、社会に貢献し続けます。

【製品・技術の歩み】

M a k e a S a f e t y

<p>1950</p>  <p>SB形金属箱開閉器 画期的な速入速断機能を備え、ヒット製品となり、IDECの礎を築いた。</p>	<p>1953</p>  <p>AR形防水・防蝕・防爆形蛍光灯 繊維、化学工業などの工場で使用される、特殊な照明器具として開発。</p>	<p>1958</p>  <p>小形コントロールユニット 徹底した小形化を図り、制御機器専門メーカーへの転換を図るきっかけとなった製品。</p>	<p>1960</p>  <p>耐圧防爆形コントロールボックス 爆発の危険性のある石油コンビナートなど、防爆機器を必要とする産業向けに発売。</p>	<p>1969</p>  <p>SPS形ステッピングプログラマ プログラマブルコントロールの先駆けとなる製品で、当時としては画期的な機能を備えていた。</p>	<p>1972</p>  <p>イエローリレー リレー分野に初めて参入。高い信頼性と長寿命を実現し、主力製品のひとつとなった。</p>
--	--	--	--	---	---

馬区

At the
time of
Growth
1970-

常に、ものづくりの
現場を支え、時代とともに
駆け抜けた。

グローバルビジネスの拡大

1970年以降、海外での子会社設立や、欧州の展示会への出展、海外優良企業との提携など、グローバルビジネスの展開を積極的に進めました。この時期、初めて国際規格であるIEC規格に準拠するコントロールユニットを発売。今も売れ続ける大ヒット製品となりました。業績も拡大を続け、1982年には株式上場を果たしました。

「人と機械の最適環境」を 創造する製品開発

1990年代以降、ものづくりの現場は、人と機械が共存するHMI (Human Machine Interface)環境が主流となってきました。このような生産性や安全性に配慮した機械・設備ニーズに応える製品として、国内初の安全スイッチやイネーブルスイッチを発売しました。2000年には、自動化・省力化を目的として、主力工場である滝野事業所に多品種変量生産を実現する、ロボット制御セル生産システムを導入しました。



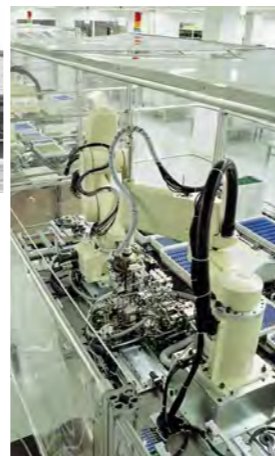
ドイツのハノーバーメッセに出展



米国に設立したIDEC CORPORATION



IEC規格に準拠する
コントロールユニット
「TWシリーズ」



ロボット制御セル生産システム

IDEC

Think Automation and beyond...

新しいシンボルマーク



植物工場ラボ



2013年に完成した新本社

100周年、
さらにその先へ。
これからも羽ばたき
続けるために。

翔

At the
time of
Expansion
2000-

和泉電気からIDECへ

2005年、創業60周年を機に「IDEC」へと社名変更し、コーポレートシンボルマークも刷新しました。創業70周年を迎えた2015年には、10年後となる2025年の企業イメージを想定したビジョンを検討するプロジェクトを立ち上げ、若手社員を中心にビジョンの策定を行うなど、未来に向けた取り組みを行っています。

持続可能な社会のために

今後、CO₂排出量拡大などによる環境問題や人口増加による食糧問題などが、地球規模の課題になると考えられます。IDECは、これまで培ってきた技術を活かし、LEDや再生可能エネルギーの普及促進、農業の自動化への取り組みを推進していくことで、新しい可能性を創造し、100周年、さらにその先の未来に向けて成長を続けていきます。

【製品・技術の歩み】

M a k e a F u t u r e

1989



プログラマブル表示器
表示デバイスに液晶を採用し、HDシリーズとして製品化。



**MICRO-1
プログラマブルコントローラ**
PC市場におけるマイクログリッド分野に先鞭をつけた製品として、業界で大きな話題となった。

1993



GaLF
IDEC独自の加圧管路方式を採用した、気泡水製造技術「GaLF (Gas Liquid Foam)」を発表。

1998



イネーブルスイッチ
非常時に危険回避を行うイネーブルスイッチを、国内で初めて製品化。

2011



小形コントロールユニット「LBシリーズ」
パネル奥行きが業界最短胴と薄形で、配線作業が容易な製品。

2014



プログラマブルコントローラ「FT1A」
ユーザーアプリケーションの省配線、省スペース、省工数に貢献する、表示器一体形のコントローラ。